

議 事 要 旨

【日 時】平成28年1月19日（火）18:00～19:30

【場 所】佐世保市立総合病院救命救急センター6階大研修室

【出席者】委員5名（※前村委員、久保委員は欠席）

（事務局等）赤瀬保健福祉部長、小寺保健福祉部次長、濱崎保健所長、中尾保健福祉政策課長補佐、田中主任主事

（佐世保市立総合病院）澄川院長、田中事務局長、久家看護部長、武富事務局次長、緒方副看護部長、畑中副看護部長、小村副理事、深江総務課長、南川経営企画課長、堤財務課長、井原補佐、尾崎主幹、寺松企画情報室長、春田係長、岳本主査、久地浦主任主事

オブザーバー（トーマツ 香野氏）

※前回到引き続き、中期計画の審議を行なった。

■議題1 佐世保市総合医療センター第1期中期計画（案）について

◆ 佐世保市総合医療センター第1期中期計画（案）について（資料に基づき事務局から説明）

※前回からの委員からの意見等を反映させた事務局作成の中期計画案について審議（主に予算・収支計画）

【意見】

○目標値の表記について。例えば患者数は1桁まで記載してあるが、予算や収支計画は端数が記載されていないことなどについて。また「以上」や「以下」という表現をすると、目標値の達成内容がどんなに良くても計画どおりという評価になってしまわないかと思われるが如何か。

《事務局》評価については、達成内容について5段階評価となっており、進捗状況によって評価委員会で決めていただければ良い。また、患者数等の目標値の表記の仕方については、修正の方向で検討したい。

○宇久の対策は今後どのように考えているのか。

《事務局》運営負担金等収入は変わらない。が、負担金の上限は変わらないので、宇久の不採算が増えれば、他の部分の繰り出し額が減るという事になる。宇久診療所の運営の見直しは、計画を立てていかなければならないと考えている。

○宇久の赤字を抱えて、繰り出しは変わらないとますます赤字になる。補助金等は無いのか。

《事務局》離島への補助金はあるが非常に少ない。法人は、設立団体からの中期目標の指示に基づき病院経営をやっていく訳だが、設立団体が負担すべき経費が法律の中に明記されている。それが、一つは病院事業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費、二つ目は効率的な事業を行ってもなお、事業収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費、これは設立団体が負担することになっている。

したがって、離島診療を効率的にやった上で客観的に不足すると認められる場合は市側の責任において負担金すべき経費と法律上記載されてことから、その額はそれぞれの自治体の裁量になるが、負担すべき経費となる。

○その他収入について。見返の利益等を見ない、本来の中身がきちんと分かるような資料が経営状況等は見やすいと思うが、いかがか。

《事務局》これについては、法人会計基準に基づいている。28, 29年度については法人化移行で特殊要因がある。どちらかと言えば30年の部分の収支はそういった要素が無いわけですから、当然、基本の病院の利益をいかに伸ばしていくかということは大事なことという認識は当然あり、経費の部分をどう効率化していくか収益の確保を計っていくことは当然考えている。

《オブザーバー》監査法人トーマツ

戻入のところは、今回法人化に伴い、この部分は市から寄付を受けているので、その部分を一時的に戻入している。一方、移行によって減価償却を見直しているの、本来はいずれ費用になるものが、最初の2年間に集中的にしわ寄せが発生しているのも事実。戻入の部分は、29年、30年以降徐々に減っていくので、カバーするため自己収入を出していく、或いは、投資を適正な水準で行っていくというような経営努力をしていかないと黒字を維持することは難しい状況であるというのは事実。

その前に、説明があったように、離島の診療所の赤字が増えていくようであればそれはそれでまた病院の経営を圧迫するようになりますので、病床利用率とか経営改善を引き続きやっていかなければならない、そのために地独化したところもある。

《事務局》予算（案）の28年度、建設改良費が16億7千8百万となっており、起債は病院建設では14億ほど借りられるが、将来的に借金を減らすという中で、28年は借入金を8億しか借りていない。努力はしているところ。ある程度現金はもっておかないと不安もあるため、現金の残を見ながら借金を減らしていく努力をしていかなければならないと思っている。

◆評価委員会意見まとめ（委員長の委員意見集約）

・収支の健全性について→3年分の収支計画については特にこの数字を修正することは無く、実際にやっていく中で考えていただきたいという意見があった。

・患者数の見込みは少し丸めた方がよい。

・地域を支えていく病院として、それに見合った病院の規模にしていくための医師、看護師、薬剤師の充実が必要。

・宇久については、だいぶ赤字が出ているので、そこをどうするという方針を出していかなければならない。しかしながら、これからも必要な医療を地域の住民に対して提供していくことが必要である。

→本日の意見をまとめていただくが、基本的には、原案通りということで、意見としたいが、よろしいか。

【了】

本評価委員会としては、本日の意見を整理の上、基本的に原案通りという事で評価委員会の意見とする。

《以 上》